

岡崎図書館開館 110周年パネル展示

■場所 りぶら会議室 201

(入退室は、図書館 2 階ポピュラーライブラリー側から)

■期間 令和4年7月 22日(金)から7月 24 日(日)まで

※岡崎むかし館でも7月 29日(金)から展示紹介します。

今年で開館 110 周年を迎える岡崎図書館は、明治 45 (1912) 年 7 月 21 日「岡崎町立通俗図書館」として開館式が行われ、大正元 (1912) 年 8 月 5 日に、門前町隨念寺下常福院を仮館舎として「岡崎町立通俗図書館」が開館したことに始まります。

かつて市立図書館は岡崎公園内に建っていましたが、戦災により全館焼失。多くの貴重な資料を失い、一度は廃館となります。しかし、幾多の曲折を経ながらも多くの市民に支えられ市立図書館は再開館します。平成 20 (2008) 年 11 月 1 日には、明大寺町 (現市美術館) から現在地に移転、岡崎市民の知的活動拠点として図書館を核とする複合施設「図書館交流プラザ (りぶら)」が開館しました。

岡崎図書館 110 周年の節目に、市民の皆さんとともに歩んできた図書館の歴史を振り返りたいと思います。



岡崎市立中央図書館